



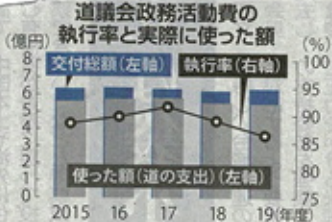
政活費執行率 86.4%

道議会 飲食充当のケースも

道議会が31日公開した2019年度の政務活動費（政活費）の収支報告によると、議員と会派がどれだけ使ったかを示す執行率は前年度比2.6%減の86.4%だった。政務活動費に名称が変わった13年度以降では最も低い。同時公開された領収書によると、道議会のルールには反しないものの、飲食に充てたケースもあつた。

交付総額は前年度より1.9%増の6億3494万円。実際に使われたのは前年度比0%減の5億4861万円であり、使われなかった8633万円は返納される。

19年4月に道議選があつたため、19年度の交付対象は、現職と引退・落選議員を合わせた171人。改選後の昨年5月から今年3月までの議員交付分を受けた100人のうち、全額を使いきった議員は36人いた。会派交付分の執行率が90%を超えたのは、3人会派。自民の吉川隆雅幹事長は「道政の推進のため必要な



会派名	議員分	執行率
自民党・道民会議	90.8%(20)	99.0%
民主・道民連合	88.8%(13)	73.5%
北海道結志会	94.0%(3)	93.2%
公明党	49.3%(0)	72.3%
共産党	95.1%(0)	99.9%

コロナ対策2事業始動

夕張市独自の新型コロナウイルス対策2事業がスタートした。夕張メロンを購入する市内スキー場のリフト券などがもらえる事業では早速、観光客らがマスクを利用。一方、使い捨てマスクを3歳以上の市民全員に配布する事業では、マスクが届いた市民の間から、公費の使い道に首をかしげる声も相次いだ。

メロン事業は7月20日開始。市内16カ所の小売店で5千円以上を購入すると、市内宿泊施設の5千円割引券やスキー場の1日リフト券、市石炭博物館などの無料券5枚分などを使い、リフト券1枚を1枚もらえ、チケットは3枚用意してあり、予算は1千万円。鹿の谷の小売店「びーふる」では7月末までに10件近い利用があったという。チケットを手にして、行



く予定ではなかった石炭博物館に向かったお客さんがいた。週末の売り上げ増加に期待したいと話した。マスクは7月末までに市民全世帯に配布。当初は1人7枚としていたが10枚に増えた。一時期の品薄状態が解消しているにもかかわらず、政府が国民に配布する。政府が国民に配布する。政府が国民に配布する。政府が国民に配布する。

割増率5割 商品券発行

【砂川】臨時市議会が31日開かれ、市独自の新型コロナウイルス対策である割増率5割の商品券発行事業への補助金4500万円を追加する本年度一般会計補正予算案と議案2件を原案通り可決した。

商品券は毎年、商工会議所が発行しているが、割増率を従来の2割から5割とし、1千5百円分（千円券15枚つり）を1万円で購入する。発売は10月1日、広報9月15日号に引換券を折り込み、1世帯2枚まで購入できる。市内の取扱店で使用でき、3枚は中小規模店専用。期限は来年1月31日まで。

【栗山】佐々木町長は31日、総額約1億8200万円の町独自の新型コロナウイルス追加対策を公表した。生活支援として、全小中学生の2、3学期の給食費を無償とすることに追加し、国の一億1千万円の特別交付金で、対象外となる4月28日から来年3月末までの出生者、母子手帳の交付を受けた妊婦に、各10万円を給付する。

【岩見沢】「リスパン」前に並び、開店時には長蛇の列ができた。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3人ずつの順番に入り、食パンやロールパンなど約15種の中から1人5個までのパンを購入し、午後7時から始まる即売会では約30分前から客が同社のパンを買いに来る市民ら



空知菓子舗の廃業前に開かれた最後の即売会でパンを買いに来る市民ら

「リスパン」歴史に幕

【岩見沢】「リスパン」前に並び、開店時には長蛇の列ができた。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3人ずつの順番に入り、食パンやロールパンなど約15種の中から1人5個までのパンを購入し、午後7時から始まる即売会では約30分前から客が同社のパンを買いに来る市民ら

【栗山】佐々木町長は31日、総額約1億8200万円の町独自の新型コロナウイルス追加対策を公表した。生活支援として、全小中学生の2、3学期の給食費を無償とすることに追加し、国の一億1千万円の特別交付金で、対象外となる4月28日から来年3月末までの出生者、母子手帳の交付を受けた妊婦に、各10万円を給付する。

【帯農】10日からの帯農中学校体育館での帯農野球部の練習が再開された。帯農野球部の練習が再開された。帯農野球部の練習が再開された。帯農野球部の練習が再開された。

帯農野球部 全校工一

センバツ応援シャツ姿で壮行会。帯農野球部の練習が再開された。帯農野球部の練習が再開された。帯農野球部の練習が再開された。



帯農野球部の練習再開の様子

免許更新「渋滞」続き

札幌の2警察署と試験場。新型コロナウイルスの影響で、道警が運転免許の更新業務を再開した6月以降、札幌市内の警察署や運転免許試験場が混雑している。感染防止対策で講習の受け入れ人数を制限し、先着順に整理券を配布しているため、早朝から整理券を求め長い列ができている。

（後藤耕作、高野渡、高橋智也）

免許更新センターのある札幌中央署では7月20日、整理券の配布が始まる午前8時までに、約60人が庁舎の外で列をつくる。整理券の外は1日3500枚で、午前10時には無くなった。以降も次々と訪れる更新希望者に、警察官が「今日の更新はできない」と断り続けている。

同署では200人近くが講習を受けられない日もあるという。この日更新できなかった更新希望者は、混雑状況を確認し、午後1時以降に講習を受けられるという。更新業務を行う同署と札幌中央署は、コロナ対策で4月19日に業務を休止。6月8日に再開した際、感染防止策と

コロナ対策 講習人数制限で

講習人数を制限し、先着順に整理券を配布しているため、早朝から整理券を求め長い列ができている。更新業務を行う同署と札幌中央署は、コロナ対策で4月19日に業務を休止。6月8日に再開した際、感染防止策と



運転免許更新の整理券を求め、朝から長い列ができてくる札幌中央署。20日